

# まったく同じURLの中の動きも ステップとして追跡しよう

## 同じURLのプロセスを解析する

それぞれのステップのURLが少しでも異なる場合は、106ページのワザ49の方法でプロセスを登録できます。しかし、URLもパラメータもまったく変わらない場合は、ステップが進んだことをGoogle Analyticsが認識できないので、このままでは正しく目標への到達を測定できません。そんなときは、「次のステップ」を表示するリンクにJavaScriptを設定することで、プロセスを解析できるようになります。JavaScriptのonClickイベントという機能を使って、リンクがクリックされたときに、同時に架空のURLが呼び出されるように設定します。

**関連ワザ** 48 買い物プロセスのひとつひとつを追跡しよう……P.104

**関連ワザ** 49 自動生成されるURLをステップとして解析しよう……P.106

### ● リンクに設定するJavaScript

```
<a href="http://www.example.co.jp/order/buy.cgi">
```



```
<a href="http://www.example.co.jp/order/buy.cgi" onClick="javascript:urchinTracker("/funnel_G1/step1.html");">
```

リンクをクリックすると [funnel\_G1] という架空のディレクトリの [step1.html] が呼び出されると記録される

**注意** 新しいga.jsのトラッキングコードを使用している場合は、「urchinTracker」の部分で「pageTracker\_trackPageview」と変更する必要があります

### ● 架空のページをステップとして登録する

- 1回目のクリック /funnel\_G1/step1.html
- 2回目のクリック /funnel\_G1/step2.html
- 3回目のクリック /funnel\_G1/step3.html

JavaScriptで呼び出される架空のURLをステップに登録する

#### 用語

JavaScript	……P.197
パラメータ	……P.200
リンク	……P.201